

**【シリコンバレーのウーバー（UBER）を打ち負かした
東南アジアのGrab（GRAB）のヤバさ】**

⇒編集後記で

~~~~~

どうもゆうです！

さて、先ほどですが、

**【米ドル覇権はフェイスブックの仮想通貨リブラにつぶされるか】**

つてのをお送りしました。

6月はほんと激動の動きが出てきてますよね～

PDF レポート

**【米ドル覇権はフェイスブックの仮想通貨リブラにつぶされるか】**

⇒ [http://fxgod.net/pdf/facebook\\_libra.pdf](http://fxgod.net/pdf/facebook_libra.pdf)

さて、それで、このリブラなんかの協賛に入ってるのが

UBER ウーバーなんですが、

世界でもっとも注目される企業かと思います。

それで日本の場合、規制がすごい強い国ですから、

このシェアリングエコノミー関係のサービスって

日常生活ではあまり普及していないわけですが、

私ゆうはマレーシアに住んでいて、もう

このシェアリングエコノミー生活が当たり前、

となっているわけです。

それでマレーシアなんかはまさにハイテクノロジー企業が

実際戦ってる国なんだけど

その最前線の戦いとして

以前にあったのが

「アメリカシリコンバレー UBER

VS

マレーシア（シンガポール）初の GRAB」

の戦いでした。

この2者が、東南アジアで強烈に衝突して、戦っていた。

さて、シリコンバレー VS 東南アジアの企業対決、

どっちが勝ったと思いますか??

そう、実はシリコンバレーのUBERが負けて、

~~~~~

マレーシア初のGRABが勝利した

~~~~~

ですよ！

最近はもうGRAB一強です。

まさかアメリカのUBERを東南アジア発の

GRABが打ち負かすなんてのは想像しづらいですが

実際に最近起こったことなんです。

それで私ゆうは当時その辺を両者使っていたので

そこでなぜUBERが負けてGRABが勝ったのかも分かるんで

特にこの辺分かれるとシェアリングエコノミーで

どこが勝っていくのか？ってのも見えやすくなりますね。

**編集後記で！**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【以下は最近お渡しした内容の音声や PDF です！】

PDF レポート

【アメリカ・サンフランシスコでは  
ホームレスの排泄物が問題化してきてる】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/sanf\\_homeless.pdf](http://fxgod.net/pdf/sanf_homeless.pdf)

PDF レポート 【金（ゴールド）価格がついに1400ドル台へ  
突入したことを考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gold\\_1400dollar.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_1400dollar.pdf)

【音声プレゼント♪】「あなたの資産に金利をつける重要性とは？」

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/shisan\\_kinri/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/shisan_kinri/)

【音声プレゼント】マレーシアでの  
電気代が1ヶ月たったの1300円だったという話と  
生活物価の話

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/malaysia\\_price/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/malaysia_price/)

PDFレポート

【世界で注目されるアメリカとイランの関係について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/us\\_iran.pdf](http://fxgod.net/pdf/us_iran.pdf)

PDFレポート

【なぜ日本の若い富裕層たちは日本の年金を捨てて「海外の保険」に  
加入するのか？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/nenkin\\_kaigaihoken.pdf](http://fxgod.net/pdf/nenkin_kaigaihoken.pdf)

PDFレポート

【最近、マレーシアのマハティール首相は中国との親密な協力を表明した、  
という話】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/mahatir\\_china.pdf](http://fxgod.net/pdf/mahatir_china.pdf)

### PDFレポート

【投資において「検証の最低時給」は1万円以上？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/kenshou\\_jikyu1man.pdf](http://fxgod.net/pdf/kenshou_jikyu1man.pdf)

### PDFレポート

【日本と中国は実質対立状態ではなくなっている、という話】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/japan\\_and\\_china.pdf](http://fxgod.net/pdf/japan_and_china.pdf)

### PDFレポート

【FXで注目の「メタトレーダー4 VS Cトレーダー」の  
戦いについて考える！】

⇒ <http://fxgod.net/pdf/ctrader.pdf>



【証言動画あり PDF レポート】

「毒カレー事件の林真須美死刑囚」は冤罪（えんざい）で  
死刑にされそう

⇒ [http://fxgod.net/pdf/enzai\\_hayashimasumi.pdf](http://fxgod.net/pdf/enzai_hayashimasumi.pdf)

PDF レポート

【トランプ大統領にドル送金禁止で抗議する中国とロシア】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/dollar\\_china\\_russia.pdf](http://fxgod.net/pdf/dollar_china_russia.pdf)

PDF レポート

【目標より「恐怖を明確化」すると行動できる！？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/kyoufu\\_meikakuka.pdf](http://fxgod.net/pdf/kyoufu_meikakuka.pdf)

（写真あり PDF レポート）

クアラルンプールの新しい芸術系ショッピングモールを  
見てきました！

⇒ <http://fxgod.net/pdf/linckl.pdf>

### PDFレポート

【金（ゴールド）はいずれ簡単には買えなくなる？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gold\\_kaenai.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_kaenai.pdf)

### PDFレポート

【先進国の人々のIQ=知能指数は低下してきている？という  
調査結果について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/iq\\_teika.pdf](http://fxgod.net/pdf/iq_teika.pdf)

PDFレポート【「ゆたぼんの炎上」と、最近  
「学校に行かないホームスクール」が  
マレーシアでは当たり前になってきてる、  
ことについて考える！】

⇒ <http://fxgod.net/pdf/homeschool.pdf>

PDFレポート

【好きなことを追求するマレーシアの教育】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/malaysia\\_education1.pdf](http://fxgod.net/pdf/malaysia_education1.pdf)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて、私は東南アジアのマレーシアに住んでるわけですが、

もうこの地域で面白いのは

「シェアリングエコノミー」ってのが結構普通になってきてる

ってことです。

もう最近は当たり前になりつつあるんだけど

カーシェアなんかも当たり前で、

移動手段はもう GRAB ぐらぶ を使う っるのが

東南アジアの生活では当たり前になってきております。

ちなみに GRAB に関してはよくメルマガで扱うのですが

それだけ便利でして、

スマホで自分の場所を設定して、

行き先を設定して、

そこでもうあらかじめ 運賃が出るのだけど

(大体200円～300円前後)

そんでボタン押したらドライバーが

自宅まで迎えに来てくれて、結構トヨタやホンダ車が

多いけど、

あとはその車に乗ったたら

何も言わずとも目的地まで車で運んでくれる

というものです。

それでお金の受け渡しはありませんで、

ビザ・マスターなんかのクレジットカードを登録していれば

最初設定した料金が

自動で引き落としされる、というものです。

まあとにかく便利すぎるサービスで、

日本だと国土交通省の認可とかが厳しいので普及してないけど

だから私からするとマレーシアのほうが生活は便利、

となりまして、日本は不便だな、ってこの前思ったくらいです。

それでこの GRAB っていうサービスはもう

マレーシアの若者だけではなくてお年よりまで

幅広く使われておりました、

ショッピングモールの出入り口をみれば

このGRABっていう緑色のアプリを広げて

ドライバーを呼んでる人が沢山目につく、という現状です。

もうだから 日本だとシェアリングエコノミーってのは

あくまで生活のオプションだけど、

マレーシアだと生活インフラにまでなってる

ってことですよね。

私ゆうなんかは自動車買っていないので、

だからもう移動はGRABがメインなのですね。

そんな人が沢山いる。

それで、実は類似したサービスに

世界で有名なのが「UBER ウーバー」があるわけですね。

それで現在マレーシアではシェアリングサービスとしては

GRAB が主流なんだけども、

以前は「UBER VS GRAB」の戦いつてのがあったんですね。

だからアメリカのシリコンバレー初のUBERと

マレーシア初のGRAB

の戦いつてのがついこの前まであったんです。



だから私なんかも「UBERとGRABのアプリ両方開いて

それでどっちか選択して、利用する」

ってのが当たり前の時期がありました。

それで驚くべきはこの

シリコンバレーのUBERと正面衝突していた

マレーシアのGRABですが・・・

「なんとマレーシアのベンチャーのGRABが

シリコンバレーのUBERを完全に打ち破った」

のですよ。

これすごくないですか??

日本でいうと GAF A とかの大企業がすごい影響が強いわけで

まさか日本の中小出身の企業が GAF A を打ち破るとか

想像しづらいと思いますが、

マレーシアの場合は この GRAB っるのが出てきて

シリコンバレーの黒船である UBER と戦っていた。

マレーシア生まれのアンソニー・タン氏が

ハーバード大学に MBA 留学して知り合った

タン・ホーイリン氏と一緒に

作ったのがこの GRAB でしたが、

以前は「マイタクシー」っていうアプリだったわけです。

それでマレーシアの人たちに親しまれていたわけですが

これが思いっきり UBER と激突したわけですね。

それで結果は・・・

というと「東南アジア発の GRAB がシリコンバレーの UBER を

負かした」

のですよ、はっきり言うと。

これがすごいな～なんて私は当時思って

2018年くらいに記事を書いていたのだけど

意外に反響があった。

それで日本だと UBER ウーバーっていうと

ウーバーイーツ Uber Eats が知られてると思いますが

このウーバーイーツもはっきり言うと

マレーシアでは GRAB に「喰われてる」わけですね。

すなわちもう GRAB はすでにウーバーイーツを

引き継いでいる。

だからこのシェアリングエコノミー対決では

GRAB と UBER が衝突して、

完全に、マレーシアの GRAB が勝利した！！

わけです。

これはすごいですよね。

ちなみにマレーシアの現在の首相がマハティール首相

なんだけど

マハティールも若いころ、

イギリスの植民地化だったけど、

ここでアジアの日本がやってきて、イギリスと戦った

わけですが

当時「白人に勝てるはずがない」と思っていたらしい。

けど、日本軍がこれ白人のイギリス人を打ち負かしたから、

驚いたらしいですが、

まさに日本人の私がマレーシアで

東南アジアの企業がアメリカシリコンバレーの企業を

打ち負かして驚いたのと同じなんだろうと思いました。

それで私が思うのが、今はシリコンバレーの

GAFAnんかが相当強くて、

それこそフェイスブックのリブラのことも書いたけど

けどこれから、こういうアジア発の企業なりが

どんどんこういう欧米企業を打ち負かせて

新しい風を吹かせるなんてのが普通になっていくのかな

なんてことですよね。

それで、私は実は今日の件名は

「シェアリングエコノミー」について書こうと思ったんだけど

ただ GRAB VS UBER の戦いが大変分かりやすかったので

件名にしたわけです。

それで・・・ここで

「なんで 東南アジアの GRAB が勝利して、

アメリカの UBER 負けたの??」

って思うわけですが、

なぜに GRAB に UBER は吸収される形になったのか？

ってことです。

これは私、以前両方使っていて、  
今も UBER なんかは台湾に行った時とかは使ってますが

やはり何百回も利用してるから

分かることがあるんですよ。

それを今日書きたかったと。

それで当時 マレーシアでは GRAB と UBER が

激突していたのだけど、

イメージ的には スマホアプリの中に

緑色の GRAB と、黒色の UBER のアプリがあって

「どっち使おうかな〜」みたいな感じだったわけですが、



徐々に私なんかも「GRABで探して、どうしても

配車が見つからない場合だけ UBER」

という使い方になってきたわけです。

これはマレーシア人たちも同じで

「なるべく GRAB 使いたい。GRAB がいないときだけ

UBER」

みたいな使い方になっていたのが

2018年の状態でしたよね。

それでこれは私すごい分かることだったんだけど

というのが

ここで絡むのが「評価経済」ってやつなんです。

日本で最近やたら 礼賛されてる「評価経済」とか

いうやつです。

UBER はこれをもろに導入していたわけですね。

一方 GRAB はそれに対して、大変慎重だった。

ちなみにどういうことか？っていうと

例えば UBER なんかではもしあなたが利用したら

「あなたの点数」が出てくるんです。

一応 1 ~ 5 段階評価で

「あの乗客の雰囲気や態度や感じはどうか」

みたいなもので

こっちもドライバーを評価するんだけど、

ドライバーもこっちを評価してくるのが

UBERでした。

んでこれは実際に使ってみないと分からないんだけど

一応こっちがドライバーを利用者として評価するのは

分かりますが、

利用したこっちが評価されるってのは

やはり気持ちの良いものではなかったりするわけですね。

実際にこれは私が使ったときにあったことなんだけど

ほとんどのドライバーは基本的に「満点の5点」をつけるんです。

ちなみに私も今まで何百回と使ってますが  
ドライバーに5点をつけてまして、4点つけたことはない  
ですね。

あんまりひどいドライバーというのは滅多に会わない。

ただUBER使っていて、私は5点をつけたけど

一度相手に3点をつけられたことはあって、

ここで「え～～なんで？」と思ったことはあるんです。

というのがよく覚えているのですが

このドライバーとは

私とも英語で話したのだけど

「金持ちたちはうんちゃらかんちゃら」

ということで左派思想そのもののことを言っていたわけです。

それで私は日本人ですから、やはり日本の水準で

質素に暮らしてると言っても

マレーシアの人から見たら1ヶ月5万円のコンドに住んでるのは

金持ちに当たりますが

そこに迎えにきてもらったとき、

やはり彼の思想に 触れてしまったんだと思ったわけです。

sonde特に最初から、

彼は思想的には金持ちなんちゃら

という批判をずっとしていたのだけど、

そんで最初から結構キレてたんですよ。

こういうドライバーが UBER って割りといた。

それで乗車が終わると評価されるけど 3 点つけられていて

そこで自分の平均点数ってのが出るんだけど

これが下がるわけです。

私なんかは結構 綺麗に車汚さず乗らせてもらってますし

特に乗客としてはドライバーからしたら

楽な乗客だと思ってるんだけど 平均点数が 4.8 前後でしたが

この彼はたぶんその日気分が悪かったようで、

あとは渋滞もしていましたから

(これは大きかったかも)

そこで あとで3点をつけたわけですね。

ただこういう人ばかりではなくて

あくまでも100人いて1人2人いるかのレベルですが、

時々そういう人に出会うのがUBERでした。

まあただ出会うのは別に仕方ないわけですが

これが「相手の気分次第で点数を下につけられる」

ってのがUBERの問題点としてあったわけですね。

これは一応UBER側としては「両者「平等に」評価をしあうのが

正しい」

という平等主義の思想で、シリコンバレーってのは

本質的には左派でして、

平等主義、共産主義を信奉してる人が実際は多いのだけど

ここで評価情報もシェアしていくっていう考え方が

あるんですね。

ちなみにシェア=共有ってのは

資本主義の所有権の絶対性とは

間逆の考え方ですが

やはり共産主義のものなんですね。

んで、ここで思想的にそっちの人がUBERはドライバーも

多いように私は利用者として感じていたんだけど、



やはりそれは接客態度にも出ていて、

接客態度が圧倒的に良かったのが GRAB で

問題ありだったのが UBER でした。

なんでも UBER はシェアリングエコノミーとは言いますが

ドライバーが運賃の 30% だけを取られるって

言っていた。

一方 GRAB のドライバーに聞いたら

GRAB はその辺の搾取が小さいんだと。

だからこの辺でドライバーの満足度も違ったようです。

それが接客態度にもろに出ていたってのも

大きい。

それで利用者側としては、

私は長く使っていて思ったのだけど

「ドライバーに評価されること自体なんか嫌」

っていう心理は発生してくるんですよ。

例えば、あなたがコンビニに行って

顔認証システムで

「あなたの買う姿勢は4点」とか

評価されていて、それが自分のスマホで

見られる形になっていたら・・・

なんか全行動監視されてる感じがして

嫌ですよね？

コンビニ店員が

「あ、4点のやつきた」

とか

「あ、5点のやつ来たラッキー」とか

思って顧客を評価していて、まあそれが内部のものなら

まだ分かりますが

それが自分にも分かる感じだったら・・・

ちょっと心理的に抵抗ありませんか？

例えば店員さんはすごいニコニココンビニで対応してくれてるのに

いざスマホを見て自分の評価をみたら

3点がつけられていた・・・なんてあったら嫌ですよ。

こういうのが実際にあったのがUBERでした。

「俺は4点なのか～～」みたいな感じで

学校の成績表でオール1をつけられたら

落ち込むのと同じ心理ですよ。

そんな心理がUBER使っていると時々あるんです。

だからどうなるか？というと

UBERの運転手にこびないといけなくて

チップあげてみたり、やたら褒めてみたりとか

そうになってしまうわけですね。

それは「5点くださいね」という意味なんだけど。

ちなみにマレーシアはチップ制度ないけど

チップあげないと、点数下がるなんてこともありますし、

またあくまでも主観なので

「おっさんで見た目が気に入らなかつたら3点。

美人なら5点つける」

なんてのもできちゃいますからね、

完全に主観で点数がつけられるので

これがUBERの利用者としては避けたいと思う点だったり

するわけです。

ちなみに点数が利用者も下がってくると、

ドライバーを配車でお願いしても、

あまりドライバーが見つからない、ということになるらしい。

私のUBERの平均点数が5点中、4.7~4.8点だとかでしたが

ここで 3点4点をつけられると

平均点数が下がる仕組みで、

なんかテンション下がるのがUBERでした。

だから評価経済とか言いますが、

利用者は評価されるのが嫌だ、

ってのが心理的にどうしてもあったかと思います。

だから私はどうなったか？というと

「UBER と GRAB があつたら

評価点数が少なくとも見えなくなってる、

もしくは評価されているかどうかは表明していない

GRAB を使う」

ってなつてたわけで、

これはマレーシアの人たちも一緒でした。

大きくは接客態度とか、あとはドライバーに点数つけられる

のを拒否する人がかなり多かつたと私は

当時使つていて強烈に感しまして、

それでみんな、評価システムが1方向の

GRAB を使いだしたつてのがこの数年で

私が見ていたことですよね。

実際マレーシアではもう GRAB 一択の人が多かった。

ちなみに GRAB の運営はかなりこの辺気を遣っていたと

思うのですが

ドライバーはひょっとしたら乗客を点数付けしていたかも

しれませんが

ただ乗客にはそのデータは見れないようになっていた

んですね。

UBER はそれを開示していた。



この辺は大きな違いでした。

それで UBER のドライバーによく言われたのが

「Give me Five (stars) OK?」

ってことで

「俺にどうか5点つけてね」

みたいなことで

UBER のドライバーも点数には相当敏感で

ストレス感じていたのだらうなというのは

感じました。

(私は満点の5点しかつけたことがないんだけど  
よく言われる。)

そして UBER に結構な手数料持ってかれるので

ストレスたまってる人も多くて、

私はもう何十回、何百回と乗車したけど

UBER と GRAB の違いは

「UBER の運転手は無口でちょっと怖い、

GRAB の運転手は明るくてのんきな人が多い」

って感じでした。

それで消費者の私の選択結果はどうなるか？というと

当然自分が評価されないで、

それで接客態度が明るい GRAB を選ぶわけですね。

んでこれはマレーシアの人も同じで

GRAB が結局人気で

UBERはGRABがつかまらないときに仕方なく使う

という感じだったわけです。

それでしばらくしてこのGRABとUBERの2強対決があったけど

GRABが勝ったってのが私が見ていたところですよ。

それでこんなことを私は見ている

まさに「シェアリングエコノミー対決」の結果を

東南アジアで見たんだけど、

今の日本では「相互評価システム」ってのが

結構はやってますよね。

一応平等に両者評価するってのがある。

けど大多数の人は

他人に評価もされたくないってのが本音で

勝手に点数つけるなよ、とか思ってるんでしょう。

少なくともマレーシアの人なんかもそうだったわけで

UBERは使われていなかった。

だからこれがシェアリングエコノミーの興味深いところで

シェアってのは平等思想からくるんですよ。

1人が使うのではなくてみんなでシェア共有しましょう、と。

sondeそこでは 資本主義なんかでは

所有権の絶対性というのが大事で、

あなたのものはあなたのものだし、

私のものは私のもの、

です。

けどこの所有権の絶対性という資本主義の前提を

崩してしまって、

所有権を一定程度否定してしまって

シェアしましょうってのが実は

シェアリングエコノミーの本質で

やはり共産主義の概念が背後にあるんです。

もともと「シェアハウス」ってのがフランスであって

日本でもテラスハウスとか流行してたと思いますし

韓国でも同じ様なシェアハウスの番組があって流行していた。

ただこのシェアハウスってのはフランスの共産主義の人たちが

「所有権の絶対性って嫌だ。

シェアしよう」

っていうところから出てきたもので

これが「シェア」なんですね。本当は。

だから反資本主義の考え方があって、

シェアリングエコノミーの元には間違いなく

共産主義ってイデオロギーがあるんです。

それで私は UBER 開発者の意図も良く分かるんだけど

彼らはシリコンバレーで共産主義的な部分を信仰する人たちも

多いですから

ここで「評価システムも平等に」ってことで

ドライバーと乗客両者 平等に評価するっていうところには

相当こだわった、わけですね。

たぶん多くのマレーシアの乗客たちが

「なぜ私が3点4点をつけられないといけないの？」

とか時には UBER 運営に言ったはずなんだけど

それでもこの相互評価システムは崩さなかった。

けど GRAB はそこは相互評価システムは

あえて導入をしなかったわけですね。

影では評価してるのかもしれませんが

まあ少なくとも利用者には見せなかった。

だからシェアリングエコノミーと言いましても

UBER はやはり共産主義的な部分をすごい大事にしていたのだけど

一方 GRAB はそこは少し引いて、なんでもかんでも

平等にはしなかったんですね。

そこで面白いのが、UBER ではドライバーと乗客が

平等な評価システムですから、

それが対等な関係か？というと違って



UBERのドライバーにはチップあげたりゴマすらないと

いけませんから、

実は関係値としてUBERのドライバーに逆らえない

んです。UBERのドライバー時々怖いみたいな。

一方GRABのほうは、というとそういうのがないわけで

実は乗客とドライバーが対等な友達みたいな関係になることが

多かった。

だからGRABのドライバーは商売人、みたいな人多かったですね。

愛想良い店員が集まってる店がGRABみたいな感じですよ。

そこでGRABがUBERに勝ったってのが

このシェアリングエコノミー大戦を見て

私が見ていたところです。

だからシェアリングエコノミーってのは本質的に

私有財産権とか所有権の絶対性をじゃっかん緩めたものだけど

そこを思いっきり平等主義でやりすぎると負けるってのが

東南アジアで見た教訓ですよ。

あくまで資本主義ベースで、ちょこっとシェアの思想を

入れるところが勝ってるってことです。

このバランスが良い企業が

シェアリングエコノミーの戦いでは

自由競争が発生した場合は勝つと。

逆を言うと、例えば UBER などの多国籍企業が

多くの国に入っても

現地企業は「弱点」をつけると言えまして、

彼らの弱点は共産主義のイデオロギーにかなり寄ってしまってる

ところなんです

そこは資本主義の考え方を強めにシェアリングエコノミーを

導入した現地企業が勝ちやすいってことですよね。

それでこれはアマゾンのレビューシステムにも

いえることで

レビューしてる人らのコメントに

「役にたった、役に立たなかった」みたいなのが

あるけど、

たぶんここはアマゾンの弱点なんでしょう。

ちなみにこの評価システムの運用の仕方ってのが

もう大きな社会問題になるのは

私はなんとなく感じてるんだけど

例えば 中国からやってきた信用スコアの話もありますよね。

あれもあれで問題で、

私やあなたはこれから大企業に「評価」されてしまう

わけです。

例えば、えっ,ちな動画ばかり課金して

夜中までえっ,ちな動画を見てる履歴がある人は

「この人は右手が恋人だな、陰キャ！」ってことで

信用スコアが下がってしまうかもしれません。

んでこれは 多くの民衆が「点数化」されるわけですから

まあストレス源になることでしょう。

だからこれは大きな問題になるし、

それは気持ち悪さもあるわけですね。

それで評価基準はかなりの主観性が入ってるけど

ただその「自分の点数」によって

ローンが組めたり、組めなかったり、

ホテルに泊まれたり泊まれなかったりってのが

出てくるわけですが

これはこれでなんとも考えさせられるシステムですが

この信用スコアの話でもありますよね。

多くの人は特に大企業なんかに評価されるのを

快く思わないってところですよ。

GRAB なんかはこの大衆心理をよく踏まえていて

マレーシア人の企業ですから

そこはうまく心理と向き合ってサービス展開していて

それが勝利したってことですよね。

それで「多くの大衆を点数化して多国籍企業たちが管理していく」

っていう大きな流れがあるわけですが

それはいずれアメリカから中国に覇権が移ったとき

大きな問題になりそうですが

GRABはその辺の問題を認識した上でいまのところ

相互評価ではなくて一方の評価システムで

勝ってるって状況ですね。

日本は潜在的にどうしても 左派が多くて

新自由主義者ってのも本当は共産主義の人だけど

そこで「信用経済」をやたら礼賛するのですが、

(あとはベーシックインカムとか。)

これに近い試みはアジアではうまくいかなかったのかな

なんてのは私が感じたところです。

例えばクレジットカードのスコアとかも

勝手にそれらのスコアが大企業に共有されてるけど

大企業や多国籍企業にそれらの評価が共有されて

使われていくってことに反発する人はかなり多いのだろうな

なんてのは私が感じたところです。

そして大企業支配を実質は

肯定するイデオロギーとして共産主義が

あるけど、



(共産主義の国では、大企業と役人が共同して

癒着して民衆支配してきた)

それは特に小さな政府を信奉するマレーシアの人々には

受け入れられなかったと言う風に

利用していた私には見えます。

結局その辺をよく理解していた GRAB が

UBER を喰ったってのが面白い現象でした。

ということでこれからもこのシェアリングエコノミー関係の

話ってのは世界をにぎわすでしょうが

同じシェアリングエコノミーの会社たちが

戦って、

共産主義性の強い会社が負けたってのは

なんとも皮肉なことだな〜と私は見て思いました。

それでこの辺を見れば、例えば

エアビーアンドビーなんかも自分が評価されるシステムですが

それが嫌でホテル使って人も大多数いるかと思えますから

(私もエアビーアンドビーは使うけど

やはりホテルと違って点数に気を遣うからなるべく避ける

傾向がある)

もしアジアのスタートアップ企業が

エアビーアンドビー倒すなら

GRAB に近い評価システムを導入すれば勝てるかもしれない

ってことですね。

だから GRAB と UBER の東南アジアの戦いを分析すると

これからのアジアのスタートアップ企業が

シェアリングエコノミー関係で勝てる戦略が見えてきて

面白いですね。

それで GRAB のアンソニー・タン氏は

大変頭良い経営者なんだろうと

と思いますが

うまーくそこで大企業の UBER の弱点を

表では言わないけどイデオロギーベースで研究して

**GRAB でアメリカのシリコンバレー企業の弱点を突いて**

**仕掛けて勝ったということですね。**

たぶんハーバード大に留学してるときに

シリコンバレーの人らの思想の弱点に

気づいたのでしょう。

ということで今はまさにシリコンバレーの

GAFA が相当強くて、

多国籍企業の独占状態が続いておりますが、

徐々にアジアからこういうアメリカに本拠地置く

企業たちに対抗できる企業が現れていくかもしれませんので

注目ですね。

**それでは！**

**ゆう**

**追伸・・・例えば検索エンジンのグーグルなんかも**

**弱点が近年露呈しておりまして、**

**やはり検索結果のアルゴリズムをいじってるのは**

**明白ですよ。**

**民衆優位な情報じゃなくて**

**大企業や官僚に優位な情報を検索エンジンの検索結果の**

トップに持ってくるようになっている。

最近はやたら官公庁や大企業のく〇サイトばかり引っかかる。

私は個人のブログが見たいのに出てこない。

ただこれも共産主義イデオロギーの情報統制の考えからですが

ここにグーグルの強烈な弱点がありますよね。

それでこの GAFA なんかの弱点は結構見えてきてるのが

現代なので、

アジアのスタートアップ企業でそこを突くところが

結構 GRAB のように、出てきそうです。

それでそんな企業があったら私たち投資家は投資したいものですよね。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【以下は最近お渡しした内容の音声やPDFです！】

PDFレポート【金（ゴールド）価格がついに1400ドル台へ  
突入したことを考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gold\\_1400dollar.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_1400dollar.pdf)

【音声プレゼント♪】「あなたの資産に金利をつける重要性とは？」

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/shisan\\_kinri/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/shisan_kinri/)

【音声プレゼント】マレーシアでの  
電気代が1ヶ月たったの1300円だったという話と  
生活物価の話

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/malaysia\\_price/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/malaysia_price/)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆